

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

**【研究課題名】** 近視小児における光干渉式眼軸長角膜厚測定装置の評価

**研究機関名** 東邦大学医療センター大森病院研究責任者

**職位・氏名** 眼科 助教・松村沙衣子

**【研究対象および方法】**

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

近視の有病率が増加している昨今、お子さんの近視を正確に評価する必要があります。調節機能がある小児においての検査は、測定原理が異なる機種間によっては違いが出る可能性もあります。そこで、東邦大学医療センター大森病院では今回、小児眼科外来を受診している近視患者において、屈折検査、眼軸長検査などを診療録から後ろ向きに検討し、近視を診断する上で、機種による違いがないかどうかの信頼性を評価する目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者様に対してよりよい医療を提供するための情報を発信できることにつながります。対象者：2022年1月から2023年1月までに東邦大学医療センター大森病院小児眼科において、近視評価に定期的な検査を施行し、解析可能なデータが揃っている患者様の診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

**【研究に用いられる試料・情報】**

過去の診療録より性別、年齢、全身疾患の有無、眼疾患の有無、眼疾患手術歴と術式、併用点眼と治療歴、調節麻痺前後の屈折値、遠見と近見の自覚的・他覚的視力・矯正視力、眼軸長を抽出します。

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【利益相反について】

本研究においては、研究責任者（堀裕一）が得ている講座研究費を使用します。研究者の中で堀裕一は検査機器の販売企業から、講義料ならびに研究寄付金を受けており、利益相反があります。本研究は研究者主導で立案した研究であり、データの解釈は利益相反のない研究者が行い、相互にデータをチェックできる体制で行います。このため利益相反状態であっても研究成果の客観性は保たれると考えられます。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 眼科職位・氏名 助教・松村沙衣子  
電話 03-3762-4151 内線 6710